

パソコン・ITとは

1. パソコン・ITとは

1.1. パソコン

- 一人一台のコンピュータ

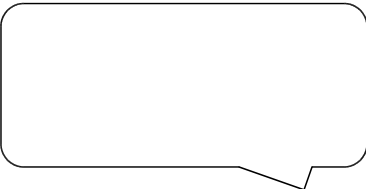
コンピュータも、世は一人一台の時代です。あなた一人が使用できる、あなた専用のコンピュータです。

- いつでも好きなときに使えるコンピュータ

他人と共用のコンピュータであれば、いざ使おうと思っても待たされることがありますので、あらかじめ予約が必要です。パソコンはいついかなる時にも待たずに使えるコンピューターです。

- あなた好みのコンピューター

ソフトウェア、データ、周辺機器なども自分の必要とす



一人一台時代の、私専用の
コンピュータ！

る物を装備し、逆に不要なものは削除しあなた好みの構成にすることができます。

PC (personal computer)=個人用コンピューター、決して小さいコンピューター(small computer)を意味するものではありません。

1. 2 . IT

●コンピュータ、インターネット関連を広く総合した技術です。技術というと、少々とっつきにくい理工学的なイメージを抱くかもしれませんが、IT はもっと広範な意味合いを含みます。

●「利用技術」も重要な技術

実生活・社会活動に情報を生かす、より広い意味での「利用技術」がそれ。わかりやすく言えば、おいしい餃子を食べに行くためネットで探すのもそのひとつです。

●担い手は担い手全国民

その意味では、わが国の文化に合った独自の IT を創造することができるはず。こう考えるとこの担い手はエンジニアばかりでなく、いろいろな分野でこれを駆使する国民、つまりパソコンを自在に使いこなすことができれば、我々すべてがその担い手であるということがわかりでしょう。

情報とは、愛を持った知らせ。高城剛氏の発言「情報には愛が必要」を紹介させていただきます。「…僕は「コミュニケーション」を日本語で「愛」とか「思いやり」って訳すんです。言葉のキャッチボールをしていて、豪速球を投げるんじゃなくて、相手が捕りやすい球を「これ捕れるかな」と考えながら投げ合うことが、大事じゃないですか。それって、相手を思いやること、つまり愛、「ラブ」なんです。それからもうひとつのキーワードとして、「インフォメーション」つまり「情報」という言葉があります。こちらは、かの有名な文豪、森 鷗外が訳したのですが、「情け」という字と「報」という字でできている。「情け」っていうのは「ラブ」で、「報」っていうのが「サービス」だと思えます。だから「ラブ&サービス」というのは、僕にとって「情報」の再英訳なわけです。さらに言えば、「ラブ」っていうのは、コミュニケーションの中の、一つの大きな断片という感じ。だから「情報」は、便利でありながら、かつ、愛がなきゃいけない。……」

IT (Information Technology)=情報技術

作るだけでなく、
使いこなすのも立派な”技術”！

情報には愛が必要だ！



1. 3 . PC ・ IT の応用例

何に役立つか、身近な応用例を挙げてみましょう

- 文書の作成

- 手紙、年賀状、書類、小説、随筆、自分史などの文書作成(ワープロ)
- 家計簿、小遣い帳、ゴルフスコア、成績表などの計算・グラフ作成(数値計算)
- 商品説明、学会などの発表(プレゼンテーション)
- AVの編集
- デジタルカメラ写真編集、音声編集、TV受信・録画・再生(音声画像編集)
- CD,DVDを使った文書・音声・画像の蓄積と再生(光ディスク)
- 友人知人との連絡
- 友人、顧客などとの連絡(電子メール)
- サークル仲間との意見交換(電子チャット・掲示板)
-

- ショッピング・金融

- 本の検索・予約・注文(オンライン書店)
- チケット・クーポンなどの予約購入(ネットショッピング)
- お宝・不要品のセリ(ネットオークション)
- 振り込み、残高照会、入金通知(オンラインバンク)
- 株式、投資信託、外貨の売買(オンライントレード)
- 情報の交換
- 情報の入手、ノウハウ開示、意見広告(ホームページ、ブログ)